

平成27年度事業報告

総 評

27年度の施設運営の特徴は人材の変動が少なく安定した運営ができたと考えます。

経営の視点と考えるとデイサービスの落ち込みに歯止めがきかず厳しい決算内容となりました。利用者のニーズの変化。いつまでも元気で自分の足で歩ける＝他人の世話にはなりたくない「自立した生活」の思いが医師・PT・OTが配置している施設を求めていると考えられます。

もう一度原点に立ちかえり、預かり機能を持ったデイサービスにも必ず求めてくる利用者はいると思いますので、このような方々に何か一つでも来て良かったとのサービスの提供を心がけていきたいと思います。

27年度の事業計画について

1. 地域を支える支援（地域包括ケア）の検討期間として29年度までに何が出来るかの検討を重ねてきました。今後の事業計画を検討するに当たり、二年間実施した「ほのぼの健康教室」で地域住民の率直な考え方等を次の通り知ることが出来ました。

意識調査（別紙参照）

- 1) 食生活に興味があるか：興味があるが全体の問いの61.9%
- 2) 今後取り入れてもらいたい内容

認知症の講話 44票 28% 運動 40票 25% 栄養 35票 22%

意識調査の結果、多くの方が健康について学ぶことを目的として参加された方々非常に多いと感じました。この結果を踏まえ29年度から実施予定の地域包括ケア事業に生かしたいと考えており、運営については通所介護（デイサービス）設備の使用を予定しております。

2. 大規模設備修繕について

平成26年度の理事会にて、平成27年度～29年度の期間中に大規模修繕を計画しご承認いただきましたが、今後の介護保険制度状況（単価の上がることは想定できない状況）を念頭におき、職員の気持ちも視野に入れ、理事会にて再度検討が必要と考えます。